

# DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

## CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区  
大東ロータリークラブ

- 事務所  
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10  
ポップタウン住道本館4階  
TEL: 072-875-1200  
FAX: 072-875-0590  
E-mail: office@daito-rc.org  
http://www.daito-rc.org/
- 例会  
毎週火曜日 12時30分~1時30分  
〒574-0076 大東市曙町4-6  
大東市民会館 4階「大会議室」  
TEL: 072-871-0001

### ◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



ROTARY  
SERVING  
HUMANITY

創立 1967年12月26日

- 会長 大東 弘
- 幹事 田川 和見
- 会報委員長 小林 誉典

大東ロータリー会長テーマ

「温故知新」

2016年~2017年度  
国際ロータリーのテーマ

人類に奉仕するロータリー

第2660地区ガバナー方針  
「The Ideal of service」

国際ロータリー会長

ジョン・ジャーム

松本 進也

平成28年11月8日  
平成28年11月15日

No.2357  
No.2358

H28.11.1 (No.2356の例会記録)  
H28.11.8 (No.2357の例会記録)

### 今週の卓話 (11月15日)

「細則変更について」

中嶋 啓文 会員

### 次週の予定 (11月29日)

「雑感」

上田 陽造 会員

### 先週の例会報告

#### ◆ 出席報告 (11月1日分)

会員数 39名 出席数 32名 欠席者 4名  
特定免除 2名 その他免除 1名  
出席率 88.89%

前々回10月18日分

ホームクラブの出席者 33名 91.43%

メイクアップの結果 35名

特定免除 3名 その他免除 1名

欠席者 0名 修正出席率 100.00%

#### ◆ 出席報告 (11月8日分)

会員数 39名 出席数 20名 欠席者 9名

特定免除 9名 その他免除 1名

出席率 68.97%

前々回10月25日分

ホームクラブの出席者 34名 91.89%

メイクアップの結果 36名

特定免除 1名 その他免除 1名

欠席者 1名 修正出席率 97.30%

### お知らせ

<ゲスト>

大阪府薬物乱用防止教育講師 大内 啓子氏

- ・11/17 第2回ゴルフコンペ
- ・11/22 第2回幹事会 15:00~
- ・11/22 例会休会
- ・11/26 第1回クラブ広報委員長会議 10:00~

- ・12/9-10 地区大会
- ・12/13 第49回クリスマス家族会
- ・12/27 例会休会

### 先月HP来場者数

<10月度HP来場者数>

ページビュー 数 827名  
ユーザー 数 178名

### ニコニコ箱

後面に記載



皆さん今日は。

今日から11月です。最近朝晩の気温が低くなり、山の木々も色づき始めて来ている様です。また大阪城公園の紅葉の見頃は11月上旬～12月上旬のようです。

今日は11月1日です、先程別室において理事会を開催させて頂きました。詳細については、後程田川幹事から理事会報告をさせて頂きます。

そして、いよいよ大東ロータリーの創立半世紀を祝う50周年実行委員会が藤本実行委員長のもと動き出しました。これからは、皆様方のご協力がなければ成功出来るものではありません、どうか宜しくお願いします。

さて、ロータリーの11月は、ロータリー財団月間であり、本年度は財団創立100周年を祝う年でもあります。ちょうど100年前の1917年、当時の会長アーチ・クランプ氏は「私たちは自分のためにだけに生きるべきではありません。誰かのために“良いこと”をする喜びのために生きるべきです」と言われ、そして、そのために「世界でよいことをするための」基金の設立を提案されたそうです。

100年の間、ポリオ撲滅をはじめ様々な活動が行われてきております。後程、今日の卓話で上田財団委員長から詳しいお話しをしていただくとお思いますので上田委員長宜しくお願いします。

ここで一つだけ、補助金制度について少しお話させていただきます。2013年新しい補助金モデルが導入され、グローバル補助金と地区補助金の2種類となり、以前の補助金制度（マッチンググラント・旧地区補助金・研究グループ交換GSEなどが）廃止されました。

本年度は財団の地区補助金制度を利用して、社会奉仕・国際奉仕両委員会と台湾スワンシーRCとの共同事業（WCS）として、10月8日大東市子ども発達支援センターに遊具「汽車スインギー」を寄贈いたしております。

そして今週末、台湾スワンシーRCに事業の報告と今後の打合せに、田川幹事・木村委員長と共に行ってまいります。

また、台湾での内容につきましては、後日ご報告させて頂きます。

以上を報告して、会長の時間とします。



<理事会報告>

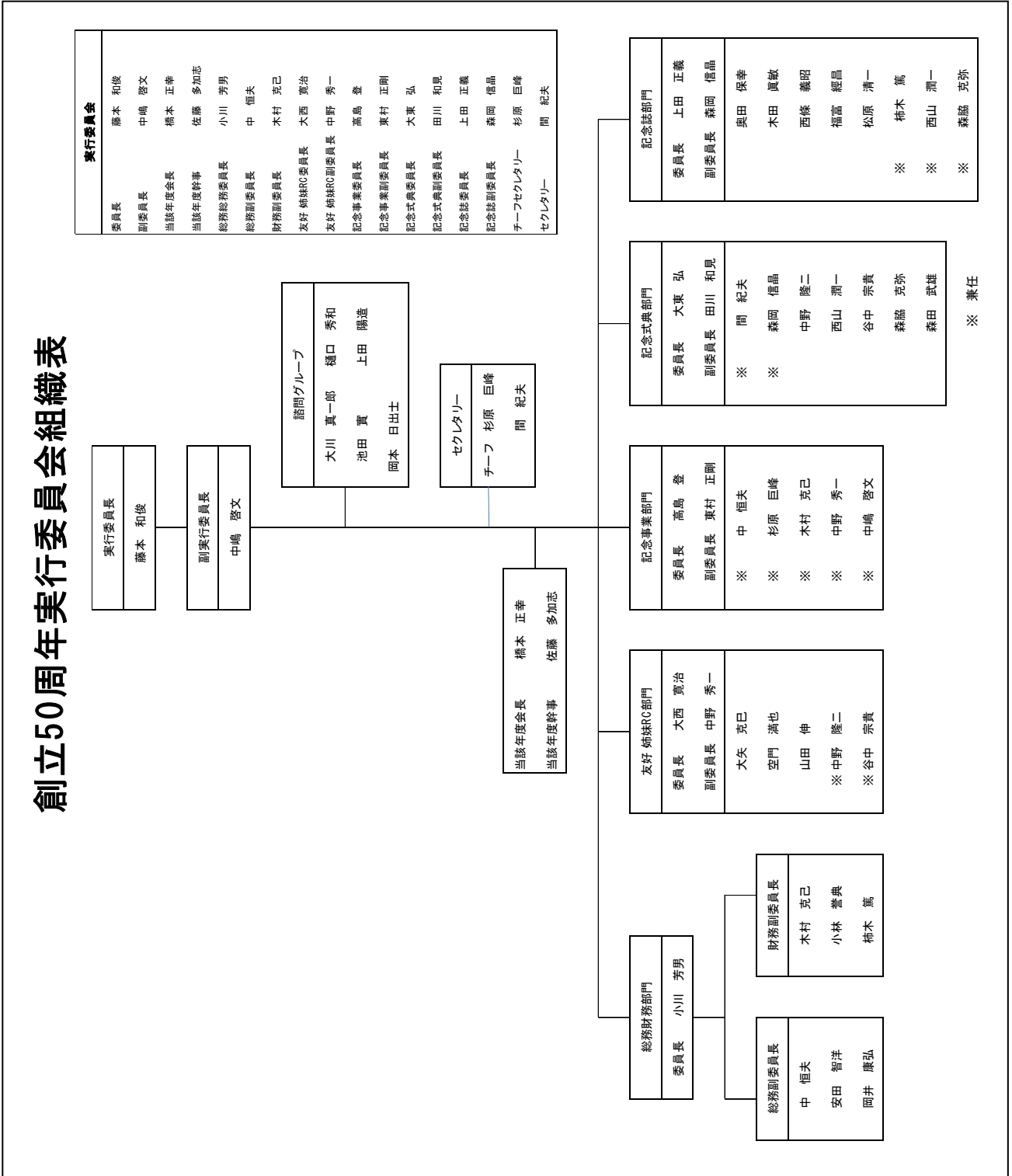
報告事項

- ・ 創立 50 周年実行委員会について
- ・ WCS 事業の事業完結報告

決議事項

1. クリスマス会について . . . . . 承認

創立50周年実行委員会組織表



委員会報告

◎ニコニコ箱委員会

- ・誕生日 自祝
- ・誕生日 自祝
- ・誕生日 自祝
- ・誕生日 自祝
- ・入会記念日 自祝
- ・理事会、例会、出席ありがとうございます 感謝
- ・本日の周年実行委員会 よろしくお願ひ致します 感謝
- ・無言
- ・ヘモグロビンがA1cが0.5下がりました
- ・会社のISO審査、無事終わりました
- ・本日もたくさんのニコニコありがとうございます 感謝

山田 伸 委員長

- 木田 眞敏 君
- 藤本 和俊 君
- 上田 正義 君
- 森田 武雄 君
- 森岡 信晶 君
- 大東 弘 君
- 橋本 正幸 君
- 中嶋 啓文 君
- 小川 芳男 君
- 木村 克己 君
- 山田 伸 君



大東RC創立50周年 第1回実行委員会 開催

平成28年11月1日（火）例会終了後、大東RC創立50周年 第1回実行委員会が開催されました。



「ロータリー財団月間に因んで ～ロータリー財団 100 周年～」



上田 正義 ロータリー財団委員長

### ロータリー財団 100 周年

2016-17 年度、財団 100 周年を祝う祝賀行事が世界各地で行われます。最初の祝賀行事は、韓国での 2016 年ロータリー国際大会で行われ、フィナーレを飾る行事は米国アトランタでの 2017 年ロータリー国際大会で行われます。

この年度中、すべてのロータリアンに、何らかのかたちで 100 周年を祝う活動や行事を実施いただきたいと思います。

1917 年のアトランタ大会で、クランプは次のように述べています。「諸々の社会奉仕を今まで通りに実行していくには、慈善・教育・そのほかの社会奉仕の分野において世界でよいことをするための基金を作るのが、極めて適切であると思われる」後にこのビジョンを土台として誕生したのがロータリー財団です。彼の「世界でよいことをする」という言葉が、財団の標語となりました。しかし、彼のビジョンが完全に実現されるまでは多くの歳月を要しました。

アーチ・クランプは、ロータリーの恒久的な基金というビジョンの実現に尽力したことから、「財団の父」と呼ばれています。

### 初の補助金、初期の財団活動

1930 年、財団は初の補助金を国際身体障害児協会（後のイースター・シールズ）に授与しました。

1930 年代初め、財団は、高校生を対象に、平和関連の事柄を主題とする小論文コンテストを実施し、その受賞者を 1931 年と 1933 年のロータリー大会で表彰しました。国際理解研究会も、初期の活動の一つでした。財団は、著名なゲストを招いて世界の問題について話し合うプログラムを実施することをクラブに奨励し、クラブがゲストの招待にかかる費用を支払えない場合は、財団がその資金を提供しました。

1947 年、財団は「高等教育のためのロータリー財団フェローシップ」というプログラムを開始しました。写真は「ザ・ロータリアン」誌に掲載されたもので、1947-48 年度に奨学金を受けた最初の奨学生グループです。

奨学金の受領条件は、その後の 70 年間に更新を重ね、その名称も、「ポール・ハリス・フェローシップ」「国際親善奨学金」「ロータリー奨学金」と変更されました。しかし、将来有望な学生に海外留学の機会を与えるという概念は当初から変わっていません。

ロータリーの奨学生には後に著名人となる多くの人があり、日本人では宇宙飛行士

の山崎直子さんや、元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんなどがおられます。財団は、職業スキルの向上にも力を入れてきました。1960年代、のちに「職業研修奨学金」と改名される「技術研修のための補助金」が導入されました。今日の財団では、職業の専門家が海外を訪問し、職業スキル研修を行ったり、新しいスキルを学んだりすることを目的とした「職業研修チーム（VTT）」プログラムが実施されています。

1963-64年度に、当時のRI会長だったカール・ミラーは、異なる文化や信念をもつ人びとを結び付けることで、冷戦による緊張状態を緩和することを重要視しました。そして1964年、管理委員会は、のちに「マッチング・グラント」と改名される「特別補助金」を開始することを承認しました。

### 保健、飢餓追放および人間性尊重（3-H）補助金

1978年、財団は保健、飢餓追放および人間性尊重（3-H）プログラムを開始。1979年には、複数年にわたってフィリピンの子どもたち600万人にポリオ予防接種を提供するための最初の補助金760,000ドルの活動を開始しました。

その後30年間、3-Hプログラムを通じて、眼科治療、義足の提供、移動式クリニックを含む保健分野の幅広いプロジェクトが実施されました。

3-H補助金では、保健・教育分野の活動に加えて、

- ・ ルーマニアの孤児院や病院への食料・ミルクの提供
- ・ ウガンダの女性たちの経済活動を支えるための裁縫スキル研修
- ・ インド、ボリビア、その他多くの国や地域での井戸の採掘と衛生システムの改善といった様々なプロジェクトが実施されました。

### ロータリー平和センター

「国際問題研究のためのロータリーセンター」を開設。その後の2002年秋に、平和フェローの第1期生が各平和センターで研究をスタートしました。世界6カ所にある平和センターは、研究と実地研修を通じて、平和構築と紛争予防／紛争解決におけるリーダーを育成することを目的としており、毎年最高100名の平和フェローが新たに参加しています。

### 新しい補助金モデル 地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント

ロータリーは2004年、プログラムの拡張に伴う運営費の増加に対応するための方策を検討し、のちに「未来の夢」と呼ばれる新しい補助金モデルを考案しました。地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラントの3種類のみが提供されるこの補助金モデルは、2010年から2013年に試験的に導入され、100地区が参加しました。

そして2013年、この新しい補助金モデルが全世界で導入されました。これに伴い、マッチング・グラント、国際親善奨学金、研究グループ交換（GSE）が廃止されましたが、その要素はその後受け継がれています。また、その後、パッケージ・グラントは継続しないことが決定されました。**地区補助金**は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援します**グローバル補助金**は、ロータリーの6つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。

### 最初の3-Hポリオ補助金

ポリオ撲滅をめざすロータリーの闘いは、1979年に開始しました。1979-80年度RI会長であったジェームス・ボーマーは、フィリピン政府との同意書に署名し、マニ

ラの子どもたちへの経口ポリオワクチン管理を通じたプロジェクトが開始されました。

ボーマーは、1993年のインタビューで、フィリピンでの予防接種活動に参加した際、幼い少年に自分のズボンを引っ張られ、「ありがとう。ロータリー、ありがとう」と言われたときのことを、感動とともに振り返りました。

1980年代半ばに、ロータリーは1億2000万ドルを集めることを目的とした3年間の募金キャンペーンを開始しました。また、ロータリーのリーダーは、非政府組織や政府高官とも面会し、目標を達成するための支援を要請しました。

その結果、キャンペーンは目標額の2倍を上回る2億4700万ドルを集め、米国ペンシルバニア州フィラデルフィアで開催された1988年のロータリー大会でも盛大に祝われました。

1988年、ロータリー、世界保健機関（WHO）、米国疾病対策センター（CDC）、ユニセフを初期メンバーとする、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）が開始されました。

当時は、毎年350,000人の子どもたちがポリオに感染していましたが、**今日、その数は99.9%減少し**、野生型ポリオウイルスが常在する国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみとなりました。

GPEIの開始以来、ビル&メリンダ・ゲイツ財団や各国政府なども撲滅活動に加わりました。ロータリーは、これまでに15億ドル以上の資金を投じ、現在も活動のための資金調達に取り組んでいます。また、世界各国の政府へのアドボカシー（支援の呼びかけ）にも力を入れ、90億ドル以上の政府援助を引き出すことに成功しています。

### 財団がもたらした影響

26ドル50セントの最初の寄付が行われて以来、財団の資産は約10億ドルにまで成長し、これまでに30億ドルもの資金が、世界中の何百万人もの生活に変化をもたらすプログラムや奉仕プロジェクトに投じられてきました。また、財団は次のような影響をもたらしてきました。

- ・ 25億人の子どもにポリオ予防接種を行い、野生ポリオウイルスによる発症数は99.9%減少
- ・ 900人以上のフェローが平和センターで研究を行い、紛争解決、戦後処理、平和推進のスキルを習得
- ・ 何十万人もの人びとに、きれいな水へのアクセス、医療と保健、教育の機会を提供  
自分だけでなく、人のために **よいことをする喜びのために 私たちは生きるべきです**

#### － アーチ・クラフ、1929年

私たちは、財団を通じて奉仕の喜びを知ることができます。財団には、会員だけでなく、学友や友人も、地域社会のためによいことをし、人びとの生活に重要な変化をもたらせる多くの機会があります。

世界に変化をもたらす団体としてのロータリーの定評も、財団の堅実な管理運営体制があるからです。

変化をもたらす方法として、次のような方法をぜひご検討ください。

- ・ 海外のパートナークラブ（姉妹クラブ）と協力して、重点分野に該当するグローバル補助金プロジェクトを実施
  - ・ クラブまたは地区が実施する補助金プロジェクトを支援、または積極的に参加
  - ・ これからもずっと世界でよいことを続けていけるよう財団に寄付
- ロータリーを通じて、これからも変化をもたらしていきましょう。

&lt;11/8 夜間例会&gt;

大東 弘 会長

## 会長の時間



皆さん今晚は、今日は社会奉仕委員会担当で、今年度初めての夜間例会であり、大阪府薬物乱用防止教育講師の大内 先生をお招きしての例会であります。大内先生には後程の卓話を宜しくお願いいたします。

さて、先週末（土曜日～月曜日）にかけて、田川幹事・木村社会奉仕委員長と 3 名で台湾へ行ってまいりました。

目的としては、10月8日土曜日に、台北スワンシー・ロータリークラブとのWCS事業として行いました、大東市立子ども発達支援センターへの遊具「汽車スインギー」の寄贈にたいしての、大東市長よりの感謝状を届けることと、今後の交流についての意見交換を行うことでした。

東北大震災のおり、台北スワンシー・ロータリークラブよりの多額の義援金と大東ロータリークラブの義捐金を合わせて、塩釜東ロータリークラブを通じ「浦戸フェリー支援事業」に援助しました。

そして、平成24年4月29日フェリー「なのはな丸」就航記念式典が行われました。多額の義捐金を託された大東ロータリークラブとして、台湾スワンシー・ロータリークラブの皆さんに、一度は現地で「なのはな丸」を見ていただきたいとの思いを、当時から携わっていた木村委員長の熱意で伝える事が出来、来年4月に台北スワンシー・ロータリークラブのメンバーが塩釜に来られるとのことです。そして、来年度50周年記念式典への多数の参加もお願い出来ました。

3名という少人数での訪問でしたが、台北スワンシー・ロータリークラブ12名のメンバーに迎えられ短時間での意見交換と親睦でしたが有意義で、より一層友情を深めることの出来た訪台でありました。

来年の4月塩釜で、そして12月50周年記念式典での交流・親睦には、皆様のご理解とご協力が無ければ出来るものではありません、宜しくお願いいたします。



先週の卓話

「 夜間例会 」



担当 木村 克己 社会奉仕委員長

ゲストスピーカー 大阪府薬物乱用防止教育講師 大内 啓子氏

11月8日夜間例会にて大阪府薬物乱用防止教育講師 大内 啓子氏が来会され、市民まつりで配布する薬物乱用防止キャンペーンへの当クラブからの寄贈品へのお礼を述べられ、現在の薬物乱用状況、薬物の恐ろしさについて、また小中学生のたばこ喫煙の実態についてお話しいただき、そして今後も薬物乱用防止への継続的な活動の大切さなどをお話しされました。

11月8日（月）まんま家於、夜間例会および社会奉仕委員会の情報集会が開催されました。



11 月のお花

- 今月のお誕生日花は、夏から秋口（ハロウィン）にかけて、イエロー、オレンジ系の花材が多い時期が続きましたが、一層秋が深まりつつあるこの時期、生駒の紅葉より一足先に、秋色を感じて頂ければと思います。
- 紅葉ヒペリカムは、東北地方より色付いた葉が関西の市場に出廻っております。
- <使用花材>
- 紅葉ヒペリカム
- ワックスフラワー（茶） — 可愛らしさ、気付かれない
- ヤリケイト（赤） — 気取り、おしゃれ
- カーネーション（R/W） — 感動、愛情
- カンガルーポ — 好意
- お誕生日おめでとございます。



# 第11回大東市小中学生弁論大会

於：サーティホール

11月11日、サーティホールに於きまして「心をことばに～伝えたい気持ち～」をテーマに、小学校6年生1,080名、中学生2,634名の中から選ばれた10名の「弁論」と、小学校5年生12名による「1分間スピーチ“わたしの学校紹介”」の発表が行われました。当日は多数の会員の皆様にご参加頂き誠に有難うございました。

結果は以下の通りです。

青少年奉仕委員会 中野 秀一

## 《小学生の部》

市長賞	住道南小学校	6年	早瀬	咲奈	「友達存在」
市議会議長賞	泉小学校	6年	藤本	咲太	「ぼくの大好きな町」
大東RC会長賞	四条北小学校	6年	川原	葉月	「わたしたちの町 大東市のために、わたしたちにできること」
	三箇小学校	6年	木村	真実	「私達の未来」
教育長賞	氷野小学校	6年	竹平	琴美	「平和」

## 《中学生の部》

市長賞	住道中学校	2年	三浦	絵里菜	「心のバリアフリー」
市議会議長賞	住道中学校	1年	角田	帆香	「いじめのない笑顔あふれる世界に」
大東RC会長賞	南郷中学校	2年	笹田	昌矢	「未来に向けて大切にしたいこと」
	大東中学校	3年	徳平	萌々香	「あなたには「夢」がありますか？」
教育長賞	北条中学校	3年	猪下	梨花	「心をことばに～伝えたい気持ち」

